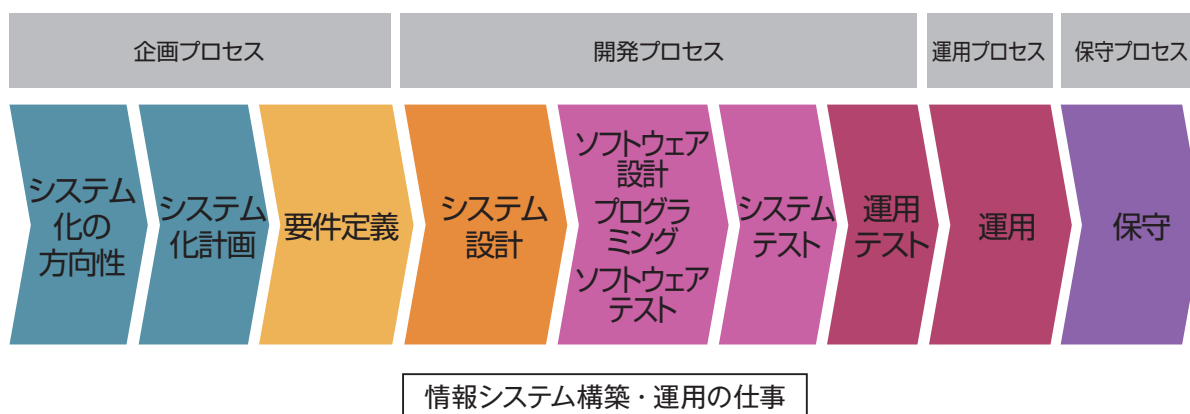


情報システムの構築（仕事内容の4つのプロセス）

情報システムの構築は、企画、開発、運用、保守の4つのプロセスに分類されます。企画プロセスは「システム化の方向性」「システム化計画」「要件定義」、開発プロセスは「システム設計」「ソフトウェア設計・プログラミング・ソフトウェアテスト」「システムテスト」「運用テスト」に分けられ、専門毎に IT エンジニアが担当するケースがあります。



仕事の特徴

情報システム構築の開発プロセスには多くの IT エンジニアがシステム設計、プログラム作成、テストに従事し、その仕事の特徴には次のものがあります。

- ソフトウェア開発は、複数の IT エンジニアがプロジェクト・チームで仕事を行うため、作業の進捗管理や製品の品質管理が難しく、個々人の経験やノウハウに依存する特性があります。また、企画プロセスが不十分な場合、その後の工程に影響が出て、時間外労働や休日出勤が増える場合があります。
- 仕事に従事する場所は開発プロセスにより変わることがあり、自社の事業場だけではなく顧客先に常駐して業務にあたること（客先常駐）もあります。
- 開発プロセスの全部もしくは一部を他のソフトウェア会社に委託（アウトソーシング）し、元請け、一次請け、二次請け等の多重下請構造になることもあります。

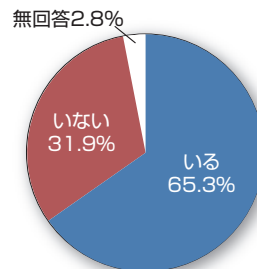
いずれも、関係者のコミュニケーション不足が長時間労働の要因となり、プロジェクトの成否はプロジェクト・マネジメントと人材の総合的な能力が鍵となります。



■「働き方・休み方の改善に向けたアンケート調査」より

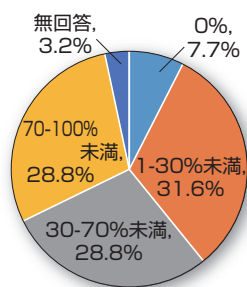
労働時間

全国の情報サービス企業に実施した「働き方・休み方の改善に向けたアンケート調査」によると、1日の所定労働時間の平均は7時間38分、1週あたりの平均は38時間53分でした。一方、所定外労働時間は、エンジニアでは平均26.0時間でした。また、所定外労働時間が月80時間を超えるITエンジニアが「いる」企業は65.3%に上り、これら企業では全体的に所定外労働時間が長くなっています。



図表1 1ヶ月当たりの所定外労働時間が80時間を超えるエンジニアの有無

顧客先での勤務

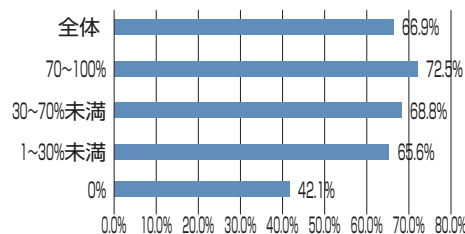


図表2 客先常駐しているITエンジニアの比率

客先常駐比率別に所定外労働時間が月80時間を超えて働くITエンジニアが「いる」割合を見ると、客先常駐比率が「70%～100%」の企業で72.5%と、客先常駐するITエンジニアの比率が高い企業ほど、所定外労働時間が月80時間を超える割合が高くなっており、客先常駐では特定のITエンジニアに負担が掛かっていることが分かります。

情報システムの仕事の特徴に、顧客先に常駐して業務に当たること（客先常駐）があります。

客先常駐をしている企業の割合は、全体の9割を超えています。また、客先常駐しているITエンジニアの比率が7割を超えている企業は28.8%となっています。



図表3 客先常駐比率別に所定外労働時間が80時間/月を超えて働くエンジニアが「いる」割合

出所：「働き方・休み方の改善に向けたアンケート調査」（2013年）